



# 災害時 外国人にも伝わりやすい 『やさしい日本語講座』

防災や災害の情報は日本語が多く、日本語がわからない外国人には、避難場所や生活に必要な情報が届かないことがあり、災害にあってもすぐに日常生活にもどれないことがあります。

そこで、必要な情報を整理し、わかりやすいことばに置き換えて相手に伝えることが大切になってきます。それが「やさしい日本語」です。

日常会話で外国人や子ども、高齢者、障がいのある人など、誰にでも伝わる「やさしい日本語」を使ってコミュニケーションを増やし、まちをやさしいひとでいっぱいにしましょう！



令和7年

2/16

14:00～16:00

上野東部地区市民センター

(緑ヶ丘東町 920)

定員30人程度  
参加費無料

講義

やさしい日本語ってなに？

実践

やってみよう！避難所の受付や情報発信  
外国人ゲストを相手に  
やさしい日本語でロールプレイ

講師

NPO 法人 伊賀の伝丸

代表理事 和田 京子さん

副代表理事 菊山 順子さん

対象者

住民自治協議会・自治会・区、民生委員児童委員など地域支援者、  
災害ボランティア、関心のある市民など、どなたでも

申込先

伊賀市災害ボランティアセンター

(事務局 伊賀市社協)

☎0595-33-0064 FAX0595-21-8123

令和5年度  
受講者の声から

相手のことを考え、  
優しい心で接することが  
大切 だと思った。  
みんなで、優しい伊賀市を  
作っていきたい。



普段から、  
やさしい日本語への  
言い換えを意識  
したい。

近所に外国にルーツの  
ある人が増えている。

やさしい日本語は、  
災害時だけでなく、  
地域交流にも必要な  
ツールだと感じた。



◀受講申込フォーム



# 「私の終活」

## ③ 遺言書〜未来へ意思をつなぐために〜

今、「終活」に取り組む人が増えています。人生の最終章に向け、家族や大切な人の将来を守る遺言書についてご紹介します。

「終活」  
ってなに？

人生の最期のときを意識しながら、これからの人生を自分らしく生きる準備をし、亡くなったあとに備えること（日本FP協会）

Q. 遺言をめぐるトラブルは、実際に起きているのでしょうか

裁判所の司法統計によれば、令和5年の遺産分割事件数は総数が1万3872件となっています。

遺言書がなければ基本的に相続人が遺産分割協議を行い、誰がどのように相続するかについて話し合っ  
て決めますが、そこで話し合いが不調に終わると争いに発展する可能性  
があります。遺言書があれば、原則としてその内容に従って相続手続きが進むことになりま  
すので、親族が話し合  
い揉めるという事態は回避できます。

Q. 遺言書を残しておくメリットは？

遺言書を書くことにより、自分が亡くなった後の財産を、誰にどのように残すのかについて、意思を示すことができます。遺言書を残すことによっ  
て、次のような効果が期待できます。

遺言書は自らの意思を残すという  
ことだけでなく、親族間の争いを未然に防  
ぐ効果も期待できます。  
また、遺言書を残していると、無  
用な成年後見制度の利用を回避  
できる可能性  
があります。故人の遺言書がなければ、基本的  
に遺産分割協議が行われることになりま  
すが、故人に重度の認知症の配偶者が  
いたり、重度の知的障  
がいの子がいたりした  
場合、相続人として遺産分割協議に参  
加しても話し合  
いの内容が理解できないことから、成年後見制度の利用が必要と

Q. 遺言書についてもっと知りたい時は？

されています。この点で、遺言書があれば、そもそも遺産分割協議が不要となることから、残された親族が相続手続きのためだけに成年後見制度を使う必要はなくな  
ります。特に令和6年4月からは不動産の相続登記が義務化されたこと  
もあり、遺言書を残す重要性は増  
えています。

法律の専門家に相談ください。

また、この度公証人の土性先生を講師にお迎えし、「権利擁護支援啓発研修」を開催します。  
そこで、遺言についてもお話し  
します。ぜひご参加ください。

ご自身の老後や死後についての相談が増えています。  
あなたも「終活」をはじめませんか？  
ぜひこの機会にご参加ください。

令和6年度 権利擁護支援啓発研修

あなたの想いを伝える終活〜任意後見制度・遺言の基礎知識〜

日時／令和7年3月2日（日）10:30～12:00

場所／名張市防災センター防災研修室（鴻之台1番町2番地 ☎63-0999）

内容／「あなたの想いを伝える終活〜任意後見制度・遺言の基礎知識〜

公証役場の業務内容・任意後見制度の概要と活用方法・遺言書作成

講師／伊賀上野公証役場 公証人 土性敦氏

対象／伊賀市民及び名張市民 参加／無料 申込締切／2月21日（金）

申込先／伊賀地域福祉後見サポートセンター（伊賀市社協）

Tel21-9611・Fax21-8123

申込フォーム▶



権利擁護支援課長  
いくま しんじろう  
生間 慎二郎



(わがまちの)

# 子どもの貧困 対策フォーラム 2025



2/24 13:30~16:30



伊賀市文化会館さまざまホール  
(伊賀市西明寺 3240-2 ☎0595-24-7015)



◆基調報告  
講師／こども家庭庁支援局

◆シンポジウム／「どのような環境に生まれ育っても、  
子どもたちが『育つために当たり前に必要な環境』を  
得られる社会の実現に向けて必要なこと」

日本では子どもの貧困や「貧困の連鎖」が深刻な社会問題となっています。本フォーラムでは、全国の子どもの貧困対策や先進事例を学び、どのような環境に生まれ育っても、全ての子どもが食事や学習の機会、生活必需品、愛情など「育つために当たり前に必要な環境」が得られる社会の実現を目指します。

参加費無料  
事前申込あり  
(当日参加も可)



パネリスト

渡辺 由美子 氏

NPO法人 キッズドア 理事長  
2007年任意団体キッズドアを立ち上げ、2009年内閣府の認証を受けて特定非営利活動法人キッズドアを設立。内閣府こども家庭庁こども家庭審議会臨時委員。厚労省 社会保障審議会・生活困窮者自立支援及び生活保護部会委員。全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 副代表幹事。



パネリスト

林 陽一郎 氏

NPO法人 皆繋 代表理事  
1980年生まれ。2012年に(株)ルナーを創業し、在宅医療・介護事業を展開。2016年NPO法人 皆繋を設立、社会的孤立対策の為に事業・調査・研究・提言活動を行う。2022年に下関市に包摂的地域交流拠点「垢田家」を開所、子育て家庭・子ども支援等に取り組む。看護師、居宅介護支援専門員。



パネリスト

古賀 和美 氏

(福)三芳町社会福祉協議会  
1999年に三芳町社協に入職、ボランティアセンター、日常生活自立支援事業専門員、福祉教育、小地域福祉活動、地区社協設立、生活福祉資金、生活困窮者自立支援事業相談員を歴任、現在は、子どもの貧困問題と全世帯の孤立・孤独の課題解決を自らの職責ととらえ日々奮闘している。

## ◆活動紹介「これから伊賀市社協が目指す子どもの貧困対策」

報告者／伊賀市社会福祉協議会 くらし支援課 課長 寺田 浩和  
主任相談員 福谷 希

申込・問い合わせ先

(福)伊賀市社会福祉協議会 ☎0595-33-0064・FAX21-8123  
伊賀市平野山之下 380 番地 5 伊賀市総合福祉会館

申込フォーム▶



～サポステはあなたの働きたい気持ちに寄り添う場所～

レッツ サポステ

さまざまな就労支援プログラムを通じてあなたに合ったサポートをします。

15～49歳までの「仕事に就きたい人とその家族」を応援！

☎ 0595-22-0039

伊賀市上野丸之内500 ハイピア伊賀3階

いが見守りサポートステーション 開所日/月～金 9:00～17:00 (土・日・祝・年末年始休)

※就職相談・各種講座※  
利用無料・要予約

2月 無料パソコン講座  
時間 10:00～15:15

14日(金) 17日(月) 26日(水)  
21日(金)

出張相談(ハローワーク伊賀)  
2月18日 火  
13:00～16:00

要予約

ご不要車買取ります

・年式の古い車  
・乗らなくなった車

愛車の買取なら地元企業の  
亀井商事

出張買取 査定費用 0円 買取手数料 0円

株式会社 亀井商事  
Joy-Auto サービス 青山店  
伊賀市青山羽根381-27

買取受付ダイヤル  
0595-62-3131

株式会社 亀井商事 青山店 0595-62-3131

## 数字で見る伊賀市の福祉

令和6年11月末現在（前月比）

|           |                   |        |                |
|-----------|-------------------|--------|----------------|
| 伊賀市の人口    | ▶ 84,719人（-108人）  |        |                |
| 伊賀市の世帯数   | ▶ 40,552世帯（-37世帯） |        |                |
| 65歳以上高齢者数 | ▶ 28,899人（-17人）   | 高齢化率   | ▶ 34.1%（±0%）   |
| 75歳以上高齢者数 | ▶ 16,760人（+57人）   | 後期高齢化率 | ▶ 19.8%（+0.1%） |
| 介護保険認定者数  | ▶ 6,172人（-99人）    |        |                |

あなたのまちの  
ふれあい・いきいきサロン

No.213



## 野間地区ワンコイン・カラオケサロン之会

メンバー数／約6～7人  
開催場所／野間地区公民館  
開催頻度／毎月第2・4火曜

令和2年、当時の老人クラブ会長が健康づくりを目的として、ワンコインカラオケを始めました。公民館内から聞こえる楽しそうな歌声に誘われ、散歩途中の方が訪れることもありました。「地区の中心に位置する公民館での開催なので、ふらっと立ち寄って1曲どうぞ」と、メンバーの方は話しています。歌うことは肺活量の増進や血流促進など、健康づくりにも役立ちます。月に2回の集まりでお互いの体調を確認し、情報交換を行うことができ、歌唱の合間のおしゃべりはメンバーにとっての楽しみの一つとなっています。

約2500曲を収録したDVDの中から好みの曲を選び、思わず口ずさむようなテンポの良い曲や雰囲気の良い曲を熱唱します。参加者の多くは80歳以上で、幅広い年代層の方に人前で歌うことの楽しさや魅力を届けたいと考えています。

今後は、地区でカラオケ大会を主催し、野間から発信して三田地区内や伊賀市内の方々に、音楽でつながる楽しさを感じてもらいたいと考えています。

我ら！ふくし  
レンジャー

No.222



たむら ちえこ  
**田村 千栄子さん**（上野在住）  
キャラバン・メイトいが 副会長

## ●活動を始めたきっかけ

同年代の友人の中で、隠れ認知症の方が増え始めたことをきっかけに、認知症に関する勉強を始めました。上野病院主催の「シニアのための… “いきいき教室”」に参加したことをきっかけに、認知症について正しい理解を深めたいと思い、後に発足した『キャラバン・メイトいが』のメンバーになりました。

## ●活動内容

地域のイベント等へ年に3回程度お邪魔し、認知症を正しく理解してもらえるよう活動しています。例えば、地元の店舗にて寸劇を行い、レジでの認知症の方に対する正しい対応方法をお伝えしています。また、誰にでも経験のあるゴミ出しの寸劇を行った後に、寸劇を見た方から、「認知症になったら、このような状態になるのだな」「正しい対応方法が分かった」等と感想を聞かせていただいたときに、「この活動を続けて良かったな」と一番やりがいを感じます。

## ●今後の抱負

一人でも多くの方に、正しく認知症について理解していただき、誰にでも優しい地域になるよう、活動を継続していきたいです。

3頁の「わがまちの子ども  
の貧困対策フォーラム」は、  
子ども家庭庁や、子ども支援  
活動の最前線で活躍されてい  
るシンポジストをお招きして  
開催します。先進事例に学び、  
わがまちの未来を考える機会  
としたく、多くの方の参加を  
お待ちしております。

## 編集後記

編集・発行

## 伊賀市社会福祉協議会

|        |                                                                                  |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 本部     | 〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階<br>☎0595(21)5866 / FAX0595(26)0002            |
| 上野     | 〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階<br>☎0595(21)1112 / FAX0595(21)8123            |
| 地域センター | いがまち<br>〒519-1413 愛田 513 番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」<br>☎0595(45)1012 / FAX0595(45)1050 |
|        | 島ヶ原<br>〒519-1711 島ヶ原 4743 番地 島ヶ原福祉センター「清流」<br>☎0595(59)3132 / FAX0595(59)3145    |
|        | 阿山<br>〒518-1313 馬場 1128 番地の1 阿山保健福祉センター<br>☎0595(43)1854 / FAX0595(43)1577       |
|        | 大山田<br>〒518-1422 平田 656 番地の1 大山田福祉センター<br>☎0595(47)0780 / FAX0595(46)1165        |
|        | 青山<br>〒518-0226 阿保 1988 の1 番地 青山福祉センター<br>☎0595(52)2999 / FAX0595(52)3555        |